

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2013-37685(P2013-37685A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2012-158849(P2012-158849)

【国際特許分類】

G 06 T 1/00 (2006.01)

G 06 F 3/0481 (2013.01)

G 06 F 3/048 (2013.01)

【F I】

G 06 T 1/00 A

G 06 F 3/048 6 5 7 A

G 06 F 3/048 6 5 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月23日(2015.6.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デジタルメディアへの視覚リンクをドキュメント上に配置する方法であって、表示手段により、ドキュメントの少なくとも1ページをディスプレイ上に表示し、適合手段により、プロセッサとメモリを有するコンピュータを利用して、前記ドキュメントのキーポイントを識別して、前記識別されたキーポイントが適合する既存の視覚リンクおよび対応するキ-ポイントを取得し、

スコア付与手段により、前記ドキュメントのキーポイントと、前記取得された、前記既存の視覚リンクに対応するキーポイントと、の間の類似性に基づいて前記ドキュメントのキーポイントにスコアをつけ、

入力手段により、前記視覚リンクを配置するための前記ドキュメントの1つまたは複数の領域を選択するユーザ入力を受信し、

配置手段により、前記視覚リンクを前記ドキュメント上に配置する、ことを含む方法。

【請求項2】

スコア変更手段により、前記キーポイントの各々のスコアを当該キーポイントの周囲のキーポイントのスコアに基づいて変更することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

可視化手段により、前記キーポイントのスコアに基づいて前記ドキュメント上に視覚的なオーバレイを生成することをさらに含み、前記視覚的なオーバレイは前記視覚リンクの配置に対する前記ドキュメントの1つまたは複数の領域の好適度を視覚的に表示する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記配置手段により、前記キーポイントのスコアに基づいて、前記視覚リンクの大きさと位置を調整することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

特定のキーポイントに隣接し、すべてが既存の1つの視覚リンクに適合する複数のキーポイントにペナルティを科すことをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項6】

前記キーポイントの各々のスコアの変更が、キーポイント間の距離に応じた重み付きスケールによってさらに変更されることを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項7】

前記視覚リンクの配置に対する前記ドキュメントの領域の好適度を、キーポイントのスコア密度に基づいて判定することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記視覚的なオーバレイは、前記視覚リンクの配置に対する1つまたは複数の領域の好適度を陰影の勾配によって表示する、請求項3に記載の方法。

【請求項9】

所定の半径内の複数のキーポイントが1つの視覚リンクに適合しているドキュメントの領域は好適度を増加させることをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記視覚リンクは埋め込み型メディアマーク(EMM)である、請求項1に記載の方法。

。

【請求項11】

デジタルメディアへの視覚リンクをドキュメント上に配置するシステムであって、

ドキュメントの少なくとも1ページを表示する表示手段と、

前記ドキュメントのキーポイントを識別し、前記識別されたキーポイントが適合する既存の視覚リンクおよび対応するキーポイントを取得する、適合手段と、

前記ドキュメントのキーポイントと、前記取得された、前記既存の視覚リンクに対応するキーポイントと、の間の類似性に基づいて前記ドキュメントのキーポイントにスコアをつける、スコア付与手段と、

前記視覚リンクを配置するための前記ドキュメントの1つまたは複数の領域を選択するユーザ入力を受信する、入力手段と、

前記視覚リンクを前記ドキュメント上に配置する、配置手段と、

を備えるシステム。

【請求項12】

前記キーポイントの各々のスコアを当該キーポイントの周囲のキーポイントのスコアに基づいて変更するスコア変更手段をさらに含む、請求項11に記載のシステム。

【請求項13】

前記キーポイントのスコアに基づいて前記ドキュメント上に視覚的なオーバレイを生成する可視化手段をさらに備え、前記視覚的なオーバレイは前記視覚リンクの配置に対する前記ドキュメントの1つまたは複数の領域の好適度を視覚的に表示する、請求項11に記載のシステム。

【請求項14】

前記キーポイントのスコアに基づいて、前記視覚リンクの大きさと位置を調整することをさらに含む、請求項11に記載のシステム。

【請求項15】

特定のキーポイントに隣接し、すべてが既存の1つの視覚リンクに適合する複数のキーポイントにペナルティを科すことをさらに含む、請求項12に記載のシステム。

【請求項16】

前記キーポイントの各々のスコアの変更が、前記キーポイント間の距離に応じた重み付きスケールによってさらに変更されることを含む、請求項12に記載のシステム。

【請求項17】

キーポイントのスコア密度に基づいて、前記視覚リンクの配置に対する前記ドキュメントの領域の好適度を判定することをさらに含む、請求項11に記載のシステム。

【請求項18】

前記視覚的なオーバレイは、前記視覚リンクの配置に対する1つまたは複数の領域の好適度を陰影の勾配によって表示する、請求項13に記載のシステム。

【請求項19】

所定の半径内の複数のキーポイントが1つの視覚リンクに適合しているドキュメントの領域は好適度を増加させることをさらに含む、請求項11に記載のシステム。

【請求項20】

前記視覚リンクは埋め込み型メディアマーク(EMM)である、請求項11に記載のシステム。

【請求項21】

コンピュータに、デジタルメディアへの視覚リンクをドキュメント上に配置させるためのコンピュータプログラムであって、

前記コンピュータに、

ドキュメントの少なくとも1ページをディスプレイ上に表示し、

ドキュメントのキーポイントを識別して、前記識別されたキーポイントが適合する既存の視覚リンクおよび対応するキーポイントを取得し、

前記ドキュメントのキーポイントと、前記取得された、前記既存の視覚リンクに対応するキーポイントと、の間の類似性に基づいて前記ドキュメントのキーポイントにスコアをつけ、

前記キーポイントの各々のスコアを当該キーポイントの周囲のキーポイントのスコアに基づいて変更し、

前記変更されたキーポイントに基づいて、前記ドキュメント上に前記視覚リンクの配置に対する前記ドキュメントの1つまたは複数の領域の好適度を視覚的に表示する視覚的なオーバレイを生成し、

前記視覚リンクを配置するための前記ドキュメントの1つまたは複数の領域を選択するユーザ入力を受信し、

前記視覚リンクを前記ドキュメント上に配置する、

処理を実行させる、コンピュータプログラム。